

第 38 回 日本気象学会九州支部発表会 プログラム

日時:2017年3月5日(日) 9時30分~17時20分

会場:くまもと森都心プラザ6階 A・B 会議室

(熊本市西区春日1丁目14番1号) 熊本駅前(徒歩3分)

開会 (09:30)

開会の挨拶 (09:30)

講演 (各項目とも講演9分、質疑応答3分 下線は発表者)

セッション (09:35~10:50)

1. 福岡空港の視程とPM2.5について
小山 芳太, 中山 高德(福岡航空測候所)
2. 黄砂に伴って熊本に飛来する浮遊細菌の濃度と生存状態
張 代洲, 村田 浩太郎, 原 和崇(熊本県立大学)
3. 気候モデルMIROCに適用する新しい雲・降水スキームの開発
道端 拓朗, 竹村 俊彦(九州大学)
4. ビデオゾンデ観測データを用いた雲物理スキームの精度評価
吉住 蓉子, 川野 哲也, 川村 隆一(九州大学), 鈴木 賢士(山口大学),
齊藤 靖博(宇宙航空研究開発機構)
5. Pre-YMCで観測された熱帯降水雲内の固体降水粒子分布と降水強化プロセス
鈴木 賢士(山口大学), 中川 勝広(情報通信研究機構),
川野 哲也(九州大学), 勝俣 昌己, 森 修一, 米山 邦夫(海洋研究開発機構)
6. 西日本周辺域で報告された乱気流の発生環境場
西原 佑亮, 川野 哲也, 川村 隆一(九州大学)

休憩 (5分)

セッション (10:55~12:10)

7. 「北風強風時に出現する脊振山系の地形性降水について」JMANHMによる再現実験と考察

今藤 友紀, 島田洋輔, 濱邊 和人, 岡本 美沙子, 福田 裕大, 雪田 一弥(福岡管区気象台), 内野 雄太(名瀬測候所)
8. 2014年8月20日の広島豪雨の数値シミュレーション
大元 和秀, 川野 哲也, 川村 隆一(九州大学)
9. 「2016年7月2日に発生した諫早ラインについて」~JMANHMによる再現実験と考察~
島田 洋輔, 濱邊 和人, 岡本 美沙子, 今藤 友紀, 福田 裕大, 雪田 一弥(福岡管区気象台), 内野 雄太(名瀬測候所)

10. 平成28年6月20日から21日にかけての九州北部地方の大雨について
清水 宏幸, 菅原 道智, 用貝 敏郎 (熊本地方気象台)
11. JMA-NHMによる平成28年6月19日の大雨の再現実験
菅原 道智, 清水 宏幸 (熊本地方気象台)
12. 2016年1月24日の大雪における環境場の特徴
津波古 悟, 木村 誠治 (鹿児島地方気象台)

昼休憩 (12:10 ~ 13:00)

支部奨励賞贈呈式 (13:00 ~ 13:10)

特別講演 (13:10 ~ 13:40)

- 梅雨前線活動の経年変動と大規模大気循環
富田 智彦 (熊本大学院・先端科学研究部 准教授)

ジュニアセッション (13:40 ~ 14:30)

(ジュニアセッションのみ講演 10分、質疑応答 4分 氏名の後の括弧内数字は学年)

- J1. 福岡の海陸風について
福岡県立福岡高等学校 (福岡市)
白水 蓮(2), 舎川 隼人(2), 橋本 真吾(1)
- J2. 環境指標 - エアロゾル - が夜空の明るさへ与える影響
東筑紫学園高等学校 (北九州市) 理科部
本田 陸人(3), 湖平 元彌(3), 藤井 悠野(3), 古川 郁将(2), 東元 太誠(2),
西村 江梨花(2), 丸山璃花(1), 前田 稜河(1)
- J3. 桜島に現れる横一直線状の雲の秘密に迫る ~ 始良カルデラが生み出す独特の雲 ~
鹿児島県立国分高校 (国分市)
今村 直生(2), 岡崎 亮太(2), 崎元 楓(2), 森山美喜(2), 湯田 夏希(2),
横山 佳奈子(2)

休憩 (10分)

セッション (14:40 ~ 16:05)

13. CloudSat/CALIPSO併用データから得られた太平洋上の多層雲特性について
山内 晃, 河本 和明(長崎大学), 岡本 創(九州大学)
14. 6月の梅雨前線低気圧の発生数と発達率を決める環境特性
西村 尚貴, 富田 智彦 (熊本大学)
15. 2016年6月19日の事例を基にした水蒸気前線の検証
二村 貴志, 用貝 敏郎 (熊本地方気象台)

16. 平成 24 年 7 月九州北部豪雨の要因を「ドライラインと CFA」と診た事例解析()
出口 一 (福岡管区気象台)
17. 北海道周辺を通過する爆弾低気圧の長期変化傾向
築地原 匠, 川村 隆一, 川野 哲也 (九州大学)
18. 台風と水蒸気コンベアベルトのフィードバック過程
藤原 圭太, 川村 隆一, 平田 英隆, 川野 哲也 (九州大学)
19. 九州上陸後の台風の構造変化に関する数値シミュレーション
福田 創来, 川村 隆一, 川野 哲也 (九州大学)

休憩 (10分)

セッション (16:15 ~ 17:15)

20. ライダー搭載人工衛星観測データを用いた北半球冬季の熱帯対流圏界面遷移層上部における雲の時空間変動
幸若 裕也, 高島 久洋 (福岡大学)
21. 冬季北半球中緯度における雲量の季節内変動に関する解析
佐藤 令於奈, 西 憲敬 (福岡大学), 向川 均 (京都大学)
22. 1990年代と2000年代における北半球冬季の中層大気循環場の特徴
岩平 朋也, 三好 勉信 (九州大学)
23. 近年のオゾンホール変動の特徴と力学場の関係
松村 直季, 廣岡 俊彦 (九州大学)
24. オゾンホールの鉛直構造とその年々変動について
徳安 愛, 廣岡 俊彦, 江口 菜穂 (九州大学)

閉会の挨拶 (17:15)

閉会 (17:20)

講演要旨集に掲載された文章及び図表の著作権は(公社)日本気象学会九州支部に帰属します